

1 概要

提案者の提案書に対して次に定める基準に従った方法により評価する。

2 評価方法

(1) 評価者

「宇城市交通空白解消に向けた調査分析業務委託に係る公募型プロポーザル評価委員会」（以下「評価委員会」という。）を設置し、各委員が各提案についてそれぞれ評価を行う。

(2) 提案書の評価及び採点方法

提案書の評価は、提案者から提出された提案書をもとに、プレゼンテーションを通じてそれぞれ次の基準により評価を行うこととする。

提案書の採点方法は、プロポーザル実施要項に記載の 8（１）提案課題について、提案書の構成それぞれに割り当てられた配点に評価採点表の重点係数を乗じて得た値を採点結果とする。

□評価基準（評価項目 1～2）

参加者の絶対評価により評価を行う。

項目の評価	評価点
特に優れており、極めて満足できる	5
十分に考慮され、優れている	4
考慮されており、ほぼ満足できる	3
考慮されているが、不足がある	2
ほとんど考慮されておらず、極めて不足である	1
全く考慮されておらず、記載がない	0

□評価基準（評価項目 3）

提案者の見積額について、次の考え方に基づいて得点化を行う。

提案者中の、見積額が最低となった提案に対し、5 点を評価点とする。
他の提案者については、次の数式で算出した点数を評価点とする。
見積額を税抜きで算定し、小数点以下切り捨てて得た点数を評価点とする。

【提案価格評価点の計算式】

$$\text{評価点} = \text{配点 5} \times \frac{\text{最低の見積額}}{\text{見積額}}$$

3 評価項目の設定

次のとおり、評価項目を設定する。

評価項目	評価事項	評価基準
1 内容	(1) 現状把握、可視化提案	ア 現状の公共交通の運行状況、利用実態 イ 熊本地震の影響による交通空白の実態 ウ 実態把握、可視化の調査・分析方法
	(2) 需要の把握、分析	ア 移動実態・目的・頻度・手法などの把握方法 イ 潜在的な移動需要を把握・分析する方法
	(3) 交通資源、移動サービス活用	ア 市内の輸送資源の把握 イ 移動支援の可能性の調査・整理 ウ 効果的に組み合わせる検討方法
	(4) 施策、交通サービス検討	ア 分析結果を踏まえた交通空白地の解消策 イ 多様な交通手段・サービスの比較検討 ウ 事業化に向け事業スキーム、収支、利用促進策
	(5) 業務体制、スケジュール	ア 業務体制、担当者の配置 イ 業務スケジュール
	(6) 独自提案	ア 持続可能な地域交通の実現に向けた独自の提案
2 業務実績	(1) 業務を適切に実施するための知識や能力、実績を有しているか	ア 本業務に関する十分な知見・ノウハウを有しているか イ 公民問わず類似業務の実績とその内容は、本業務を実施するに当たり十分であるか
3 見積額	評価＝最低見積書金額／見積書金額×5 ※評価点数は、税抜きで算定し、小数点以下切り捨てとする。	

4 受託候補者の選定

提案者の提案内容により、評価基準に基づき独立して提案者の提案の優劣を判定し評価委員会において、委員の判定に基づく採点の合計点により基準点以上を満たす者の中から一位の者を決定する。

ただし、最高点の者が複数いる場合は、業務内容及び業務実績の評価点合計が最も高い者を受託候補者として選定する。なお、総合評価点と同点で、かつ、業務内容及び業務実績の評価点合計が同点である者が複数いる場合は、評価委員会委員長の総合評価点の高い者を受託候補者として選定する。

5 提案者が1者又は参加申込みがない場合の取扱い

提案者が1者のみの場合であっても評価は実施し、評価の結果において基準点を満たすときは当該参加者を受託候補者とする。また、基準点に満たない場合、又は提案者の参加が無い場合は再度検討する。

なお、基準点は60点とし、総合評価点を委員の数で除して算出した値と比較する。